

調査内容の解説

エステティックサロン市場の現況と今後の動向

◆市場概況

2007年度見込みのエステティックサロン総市場は、4,013億5,300万円で前年比100.9%と前年に引き続きプラス成長となった。

☆施術・物販別市場概況

2007年度のエステティックサロン産業総市場の内訳は、施術市場が2,388億2,500万円（前年度比99.4%）で、エステティックサロン総市場に占める割合は59.5%、次いで物販市場が1,245億9,300万円（前年度比100.3%）で31.0%、メンズエステ市場が379億3,500万円（前年度比114.0%）で9.5%を占めている。

また、レディース市場の施術市場2,388億2,500万円を100%として各施術の内訳を見ると、フェイシャルが47.3%、ボディ(痩身)市場が37.1%、脱毛市場が12.7%、その他が2.9%となっている。

フェイシャルおよびボディ市場は堅調に推移しているものの、脱毛施術市場の縮小により、施術市場全体は前年に比べ微減の結果となった。

一方、物販市場は緩やかな成長ぶりを見せており、さらにメンズ市場は前年度比で114.0%と高水準で推移したことから、エステティックサロン市場全体では、微増ながら市場の成長を維持している。

☆業態別市場概況

ナショナルチェーンは、大手有力チェーンで既存店舗のリニューアルやスクラップアンドビルドによって売上改善を図ったにもかかわらず、横ばいから微減で推移したチェーンが多かった。

一方、リージョナルチェーンや個人・単独店などが新規参入や出店を増加したことによって、市場全体の拡大に寄与した。

◆今後の動向および市場規模推移

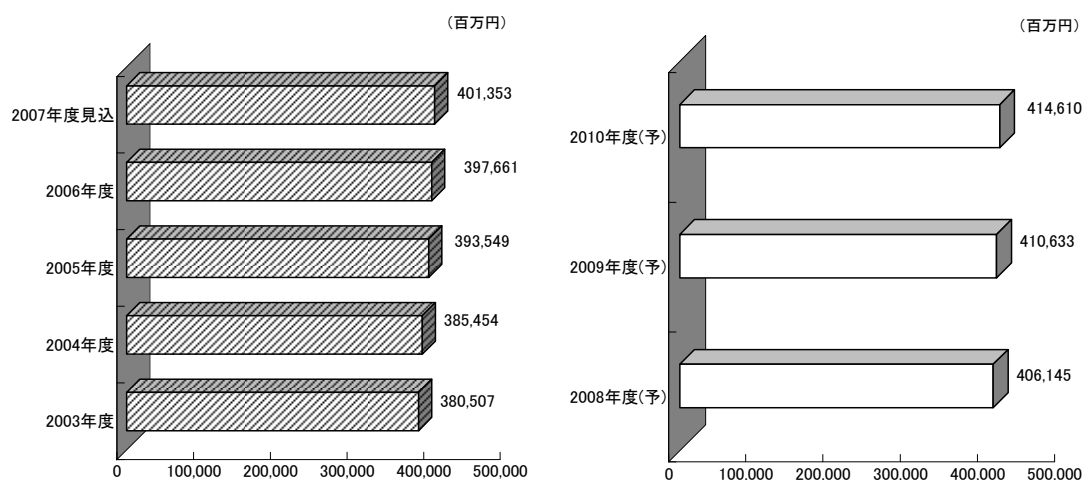
エステティックサロン総市場は、有力ナショナルチェーンがこれまで実施していたスクラップアンドビルドが一段落し、これから新たな展開に入ることや、2008年4月から保険者に義務つけられる特定健診や特定保健指導が追い風となってエステティックが美容の観点に加えて、健康という観点からも成長を続けることから、市場全体がますます活性化されるものと考えられる。

一方、エステティックサロン認証制度が実施されることや、脱毛の施術がエステティックから医療機関への移行が予測されること、割賦販売法や特定商取引法の改正などによって、業界の淘汰も進むと考えられる。

しかし、メンズエステのさらなる普及に加え、多様化する消費者ニーズに対応するメニューの開発や新規顧客の獲得、既存顧客の定着に向けた各社の施策が奏効するなどプラス要因が多くあることから、エステティックサロン総市場は今後も拡大の傾向にあると予測される。

そうしたことから、エステティックサロン総市場は、2008年度には4,061億45百万円（前年度比101.2%）、2009年度には4,106億33百万円、2010年度には4,146億10百万円へ成長するものと考えられる。

【エステティックサロン総市場の市場規模推移（2003～2010年度）】

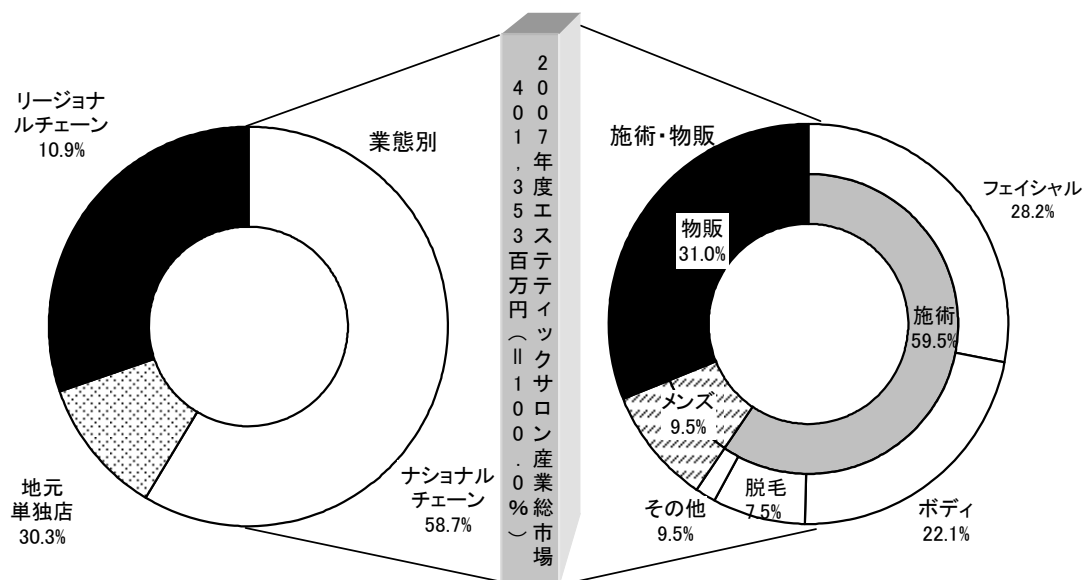


(単位：百万円、%)

年度	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
市場規模	380,507	385,454	393,549	397,661	401,353	406,145	410,633	414,610
前年比	—	101.3	102.1	101.0	100.9	101.2	101.1	101.0

※2008年度以降は、予測値。

【エステティックサロン総市場の施術・物販別/業態別市場構成比率（2007年度見込み）】



◆DELTA i.D.総合研究所推計

◆ 会社概要

株式会社 DELTA i . D . 総合研究所
 (株式会社デルタ・アイ・ディ総合研究所)

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-11

フレンドビル 7F

代表取締役社長 石澤 一未

設立：2007年7月

資本金：1億3,030万円

事業内容：産業全般の総合的調査

業界情報データベース事業 (ISGR 事業)

自主企画調査資料発刊

分野別受託調査

各種 コンサルティング

セミナー・各種研修、書籍発刊等

URL : www.delta-id.com/